



第2回 わが家の悩みのタネを解決! 「夏休み読書感想文」講座

実施報告

【日 時】平成27年7月18日(土) 10時~12時
【場 所】吉敷地域交流センター 講座室
【講 師】宇部市立小羽山小学校 教頭 前田 真奈美 氏
【受講生】大人25人(小学生の保護者)



夏休みに毎年悩まされていた「読書感想文」。親になった今、再び子どもの宿題に悩まされるとは…。子どもが自分の力で感想文を書くために、保護者がサポートできることを教えていただきました。

はじめに

夏休みのはじめにこの場にいらっしゃる皆さんは、きっと教育熱心な方々でしょう。参加者のお子様たちの2割は本講座を聞かなくても読書感想文が書け、6割が本講座を受けることによって書けるような気がすると思います。しかし、2割は、書けないかもしれません。感想文が書けなくても、不得意なことがあっても、親として何か得意なことを見つけて、一緒にいる間に1度でも「やる気スイッチ」を入れてあげられるといいですね!

読書の発達段階について

読書の自立のためには3つのハードル「1つの川と2つの山」があります。



「言語環境の川」…5・6歳 文章が読めるようになる頃。

字が読めることと文章が読めることは別です。自力で「言語環境の川」を渡り、文章を読めるようになる子と、手助けが必要な子(“話し言葉”と“書き言葉”の違いに困難さを感じる子)がいます。

⇒ 読み聞かせをしましょう!

読み聞かせは、情操面の発達や親子のふれあいに良いと言われますが、“書き言葉”を耳から徹底的に入れることによって“書き言葉”に慣れさせることは、国語の力を伸ばすためにもとても有効です。

「自分から読む山」=「ゾロリの壁」…小学生高学年 自ら本を読めるようになる頃。

ゾロリまでは自分で楽しく読めますが、文章ばかりが書いてある本へ移行できない子がいます。

⇒ <楽しい読書>をしましょう! 同じ作者が出している<シリーズの本>をおすすめします!

「こそあどの森」岡田淳、「ハリーポッター」J・K・ローリング、「精霊の守り人」上橋菜穂子など

「考えるために読む山」…中学生・高校生 自分が思い悩んだときに本から何かを得られるようになる頃。

中学生・高校生の頃は、ほとんどの子どもたちが「部活と受験の谷」に陥って、最も読書から離れる時期です。友達、恩師、尊敬できる人との出会いの時期でもあります。この時期に読書続けることで、思い悩んだときに本を読み、生き方を変えるような本に巡り合えることがあるかもしれません。

⇒ <ミエの読書>をおすすめします!

まわりの友達や異性に対して見栄をはるために、読書をする傾向があります。

⇒⇒⇒ 最後の山を越えれば、高校・大学では哲学的な難解な本を読み、就職してからはビジネス書を読むなど、一生を通して読書による心豊かな生活を送れるようになることでしょう。



本を選ぼう

題名を見ておもしろそうなものや、1～2ページ立ち読みをしておもしろそうなものがおすすめです。

本人が 読みたい、おもしろそうと思える本、意見や感想をもてる本を選びましょう！

おもしろそうなものがみつからないときは、「教科書に出ている作家」の本や、自分に近い「サッカー」「犬」「ピアノ」などの内容に興味をもてる本、課題図書などを選んでみてください。

＜参考＞「わたしの読書」…コンクール入選作品からみる本の傾向

- ・低学年 課題図書 「家族」「からだのふしぎ」「虫」など
 - ・中学年 課題図書 「友達」「仲間」「いのち」「障がい」「盲導犬」「仕事」「夢」など
 - ・高学年 課題図書 「友情」「いじめ」「戦争」「いのち」「災害」「環境」「生き方」など
- ※「ゾロリ」や「ハリーポッター」は、感想文のコンクールで入賞することはほとんどありません。



本を読もう

1回読んだあと、必ずもう1回読みましょう。2回目に読むときには、あらすじや、感じたり考えたりしたこと、心に残ったこと、疑問に思ったことなどを付箋に書きながらはっていきましょう。その後、家族や友達と感想を話し合しましょう。

お母さんも同じ本を読んでみましょう！
同じ本について子どもと話してみましょう！



感想文を書こう

感想文の構造は、「あらすじ」「感想」「書き出し」「まとめ」でできています。

☆「あらすじ」…だれが、どこで、いつ、何をした、それはなぜか

☆「感想」

・感想の書き方1

アイデア1…なぜそう思ったのか
アイデア2…どんな場面からそう思ったのか
アイデア3…登場人物と自分をくらべてみる

・感想の書き方2 <な・た・も・だ>

な（なぜなら）

た（たとえば）

も（もしも）

だ（だから）を使って書く

・感想の書き方3 <言葉の言い換え>

（例）「おもしろかった。」を言い換えてみる。
「ゆかいな本でした。」
「物語の世界にぐんぐん引き込まれました。」
「読みながらグラグラと笑い転げました。」
「ぷっと吹き出してしまいました。」などなど、
同じ意味でもたくさんの表現の仕方があります。
言葉の言い換えをすることで、表現豊かな感想文になります。

☆「書き出し」…印象的な書き出しを考えましょう。

☆「まとめ」

※ 条件がある中で量を配分して文章を書く力を身につけましょう！

国語テストでの答え方や、大学で論文を書く、文章を書く仕事に就くなど、将来的に必ず役に立つ力です。文字数が足りなかったら言い換えて増やしたり、余ったら不要な部分を消したりする作業を練習しましょう。



書き出し
（五行）
あらすじ
（十行）
感想
心に残ったこと
（十行）
自分の体験や考えなど
（二十五行）
まとめ
（十行）

☆400字詰め原稿3枚の場合の目安量
（枚数が増えても同じ比率でOK）

ワークシートを 使って書こう

(※最終ページにA4サイズのものがあります)

ワークシートの一例…決まった項目の余白部分に記入をしていくだけで、感想文が書けます。

この本を読むことによって、わたしは、 という経験をしたと思います。	まず、 次に、 さらに、	この本のあらすじを書きましょう。	わたしがこの本を読むことになったきっかけは、 ということです。	この本を読んで、私が強く思ったのは、 ということです。	わたしが読んだのは、 という本です。
--	--------------------	------------------	--	------------------------------------	---------------------------

※ 最近では、パソコンで入力し、修正を加えて決まった文字数を調整してから手書きする子もいるようです。

前田先生からのメッセージ



「わたしの読書」
山口県学校図書館協議会発行

- ☆ 「わたしの読書」を読みましょう。「感想文ってこんなもの」ということがわかります。また、同年代の子どもたちがどのように書いているのかが勉強できます。年代に見合った表現で書かれているかどうかは、コンクールの入賞基準のひとつだと言えます。
- ☆ 親子読書を楽しみましょう。感想文に頭を悩ませた日々が、親にとっては、いつか甘い思い出に変わるはずです。子どもは忘れてしまうでしょうけど…。
- ☆ 小学生のお子さんと親子で楽しめるお薦めの本として、ルイス・サッカーの「穴」、上橋菜穂子さんのファンタジーなどはいかがでしょう。

講座を終えて



作って順番を待っていらっしゃいました。アンケートにもたくさんの感謝の言葉が寄せられました。

長年にわたる読書についての研究や、読書感想文コンクールの審査、前田先生ご自身の子育てなど、たくさんのご経験をもとにした興味深いお話を1時間半しっかりと聞くことができました。前田先生のお言葉はどれも熱く、参加者の皆さんはとても熱心にメモを取りながら、聞いていらっしゃいました。

講座終了後にも、先生と直接お話がしたいと、多くの方が行列を



受講生の方からの ご意見・ご感想

一部ご紹介

- ◆ 夏休みの最初に聞けて良かったです。気持ちがかなりラクになりました。
- ◆ 今日の講座を受け、キリキリせずに子どもの読書感想文のサポートができそうな気がしてきました。今までは、課題図書にこだわっていましたが、子どもの興味を考え、まずはじっくりと本選びをしたいと思います。
- ◆ 「読書感想文」という枠を超え、子育ての悩みにもダイレクトに響いてくる先生のお話でした。本嫌いなので、そこから始めたいです。
- ◆ 毎日、自問自答しながら子育てをしている中、勇気や希望を与えていただける講座でした。子どもたちのスイッチに気づいてあげるきっかけを見つけることができるとういなと思います。「オセロが変わる時のように…」とても心に響く言葉でした。今日はありがとうございました。
- ◆ 子どもに書き出しから「わから～ん」と言われて困っていたので、さっそくワークシートを使ってやらせてみようと思います。2度目に付箋をはっていくというのも参考になりました。
- ◆ 読書感想文のノウハウだけでなく、親子の関わり方のヒントをたくさんいただきました。この夏は、親子で「苦行の時間」から「楽しい時間」になるようにしたいと思います。
- ◆ 読書感想文のことだけではなく、子育ての話を聞いたことが本当に良かったです。自分（親）があまり本を読まないの、これからは子どもと一緒に自分も本を読みたいと思いました。
- ◆ 親の自分も今以上に読書をしたい！と思える内容でした。読書の楽しさを感じたまま感想文が完成できるようサポートしていきたいと思います。
- ◆ 目先の読書感想文を書くということばかり考えていたことに気づきました。前半の読書の発達段階のお話をこれからの生活に生かし、本を楽しんで読めるよう成長して欲しいと感じました。貴重なお話をありがとうございました。
- ◆ 初めての読書感想文でとまどっていましたが、前田先生のおかげで楽しく取り組めそうです。今日は本当にありがとうございました。
- ◆ まだ1年生なので、先のことかな～と思っていましたが、先生の話聞いて、言葉の感覚に鋭くなることや、国語力アップにもつながることがわかりました。ぜひ、この夏休み中に親子で楽しみつつがんばって、読書感想文をやってみたいと思いました！
- ◆ 折りツルの話がとても素敵でした。あんな鶴で答えるくらいだから、立派なスイッチをおもちだと思います。読書との関わりを続けていくためのお話が、とても興味深かったです。賞をとること自体が目的ではなく、いつかオセロをひっくり返すための一手を見つける手立てとして、読書を続けてくれればいいなと思います。ありがとうございました。



ご協力ありがとうございました。

読書感想文を書こう！

(

)

1

本の題名

2

この本を読もうと思ったわけ

3

この本の主人公について

4

自分と主人公が似ているところ

5

一番心にのこったこと、または、この本を読んで伝えたいこと

どくしよかんそうふん
読書感想文を書こう！

1

わたしが読んだのは、

という本です。

2

この本を読んで、私が強く思ったのは、

ということです。

3

わたしがこの本を読むことになったきっかけは、

というのです。

4

この本のあらすじを書きましょう。

5

わたしは、この本を読んで、いろいろなことを考えました。
まず、

次に、

さらに、

6

この本を読むことによって、わたしは、

という経験をしたらと思います。

とくじょうかんそうぶん
読書感想文を書こう！

(

)

1 「書き出し」を考えよう

2 「まとめ」を考えよう